

# 「第9回 西宮市都市交通会議 地域公共交通分科会」会議録

日 時：平成29年5月24日(水) 14:00～15:00

場 所：西宮市立勤労会館 4階 第8会議室

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第1号 生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更について

議案第2号 生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について

議案第3号 さくらやまなみバスに係る事業計画の変更について

3. 閉会

○委員出席者

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
分科会長	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	
委員	森下 真	公募委員	
	中本 青子	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	欠席
	土井 勉	大阪大学COデザインセンター特任教授 一般社団法人システム科学研究所上級研究員	
	楠田 悦子	モビリティコンサルタント ジャーナリスト	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部長	
	野口 一行	阪神バス株式会社 取締役業務部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	運行管理部長 上仲 智広
	原田 寛治	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	中澤 秀明	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	総務部長 水田 節男
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	運営指導部長 小笠原 章
	森田 啓司	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課長	
	行徳 光正	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課長	
	植松 浩嗣	西宮市 土木局 道路公園部長	
	森田 高敏	兵庫県西宮警察署 交通第1課長	係長 伊藤 千紗
	吉本 道明	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	運輸企画専門官 大谷 健太郎
	登日 幸治	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課長	副課長 正垣 あおい
松尾 成史	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）		
豆成 一郎	西宮市 都市局 都市計画部長		

## 議事内容

### (1) 協議事項

#### ・議案第1号 生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更について

事務局より生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更案について説明。

(委員) 今回バス停を新設するにあたって、何人の意見があったなどプロセスを教えてくださいませんか。

(事務局) 運行協議会の方々は普段から便乗しながら利用者の意見などを集約されています。また、毎月1回定例会で情報を集めて、停留所をつけるか議論されており、効率の良い運行につながると判断して今回は新設することになりました。

(委員) 非常に決断が難しいと思いますが、誰かの意見で決まるのではなく月1回の会議があることがわかったのがよかったと思います。

(分科会長)

全体の時刻は、バス停留所を増やしたけれど変わらないですか。

(事務局) 生瀬地区の停留所は切り込みを入れて停車できるような状況ではありませんので、時間調整が運行上非常に難しいところもあります。利用者がたくさんおられる場合は遅延気味の運行になっている可能性もありますが、今のところは時刻表どおり運行できている状態です。

(分科会長)

現在の時刻表が維持できるような中で、工夫されているということだと思います。

(委員) ドライバーさんが、どのタイミングで休憩されているのか、疲れが残らないようにされているのか教えてくださいませんか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

1台で朝8時半から最終便17時26分まで走っていますが、B宝生ヶ丘ルート第3便で12時15分に一度宝塚駅に戻り、その後1時間15分の時間が空き、13時30分から午後の便が発車します。午前4時間、午後4時間を別の乗務員が運行するというのを月曜日から金曜日まで繰り返しています。4時間以内の運転で、途中も10分以上の休憩も入れて労務管理を行っています。

(分科会長)

ヒヤリ・ハットなどそのようなものは集められていますか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

月1回、現場でミーティングをして情報交換等をしています。

(分科会長)

非常に順調に運行されており、全国の模範となる事例だと思います。愛媛県の大洲市でも「ぐるっと生瀬」のようなバスを走らせたいという話がありました。その際に「ぐるっと生瀬」運行協議会の事務局長や自治会長さんのようにうまくまとめられる方やそれを支える方々がチームとして機能している状態が目標とすべき事例と納得されました。一方で、機能しなくなった場合のことについては懸念されていました。今後もステップアップしてもらえればと思っています。

(委員)

車両1台で運行されていますが、車両の不具合等の状況はいかがですか。

(事務局)

運行から1年7カ月走行している状況で、走行距離は地区内を1日135キロです。特に今のところ不具合等が発生したということは聞いていません。

(分科会長)

そのほか何かご意見があれば、お願いします。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

要望は、停留所の新設や変更に関するものよりも料金と便数に関するものが多いです。今回はバス停設置に絞りましたが、増便や運行時間延長、特別便の議論もしています。運転手不足や積み残しの心配があり、増便するかの結論がつかずにいます。いろいろな問題があることを分かっていたいただき、運営しています。

(分科会長)

事務局より説明のあった「生瀬地区コミュニティ交通に係る事業計画の変更について」を承認するというところでよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(分科会長)

議案第1号は原案のとおり承認されました。

・議案第2号 生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について

事務局より生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画案について説明。

(分科会長)

事務局より説明のあった「生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について」を承認するということがよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長)

議案第2号は原案のとおり承認されました。

(委員) 議案第2号に直接関係する質問ではありませんが、「ぐるっと生瀬」には、どのような人がどのように利用していますか。協議会として来年度の課題を教えてくださいませんか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

当初の対象者は主に高齢者でしたが、若いお母さんや帰宅時間の早い子供さん、変則的な通勤時間の方が新規のお客さんとして昨年から増えてきています。また、運転免許証を返納された方や友達と一緒に乗車される方がいました。今後については、ベビーカーを持って乗車される方への対応や障がい者を支える会からの相談がありますので、社会性や公共性という付加価値が持てるようなバスにすることが課題であると思います。また道路環境の変化で交通状況も変わり、コミュニティ交通が果たす役割というのがどこにあるのか、3年後、5年後のビジョンを描くことが大きな課題だと思います。

(委員) 3年後は車両やドライバーの不足という課題がありますか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

ドライバー不足はトラックやバスだけでなくタクシーも同様であるため、阪急タクシーに努力していただいています。運行協議会でも地域内の方で運転手を探しています。増便やルート変更、コース変更などもありますので、総合的に色々な問題をこれから検討していく必要があります。

(分科会長)

議案第2号の国庫補助金の申請手続等は当会議の承認を受けて進めることとなります。今後事務局と運行事業者で関係書類を作成していくということで、事務局に一任するということがよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長)

議案第2号の手続等についても承認されました。

・議案第3号 さくらやまなみバスに係る事業計画の変更について

事務局よりさくらやまなみバスに係る事業計画の変更案について説明。

(分科会長)

平日2便、土曜2便の停車を計画したいということですね。

(事務局)

はい。

(分科会長)

事務局より説明のあった「さくらやまなみバスに係る事業計画の変更について」を承認するということによろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(分科会長)

議案第3号は原案のとおり承認されました。

変更後の効果をぜひ報告いただきたいと思います。

以 上